

平成21年度
東オホーツクシーニックバイウェイ
ルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイ	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイ 代表 高谷弘	報告年月: 2010/4/7
-------------------------	------------------------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全 (ネナシカズラの除去等)	1	小清水原生花園のゴミ拾い事業	小清水町観光協会	平成21年4月18日	80名		沿道清掃及び植栽活動が各エリアで活発に行われ、各方針の目標の達成を十分満たしているものと考えられる。今後は、類似した活動も多く見受けられることから、これらの活動を連携させることを念頭においてルート全体活動などに反映させたい。
	沿道の一斉清掃活動の実施	2	平成21年度網走湖クリーン作戦	網走市観光協会	平成21年4月25日	300名		
		3	美しい景観保全のための清掃事業	清里町商工会	平成21年5月11日	170名		
		4	きよさと花みどりフェスタ2009	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成21年6月1日 ～ 平成21年9月30日	5000名		
	沿道の植栽活動の実施	5	ウトロ沿道に花を植えよう	しれとこウトロ・フォーラム21	平成21年6月20日、21日	130名		
		※	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	※H22.21に行う予定だったが、雪が融けたため未実施。来年度も継続して行う予定	-		
景観づくり 鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	-	-	-	-	-		事業予算等が少なかったことから、各方針別の活動がほとんど行われなかった。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせずに実現できる取り組みを行っていきたい。
	花を見る木道づくりの推進	6	桜の名所づくりと既存の植栽地の維持管理	桜の名所を創る会	平成21年5月10日	158名		
		7	シーニックの森「てんとらんの森で植樹会」	道立オホーツク公園	平成21年10月28日	30名		
	東オホーツク花カレンダーの作成	-	-	-	-	-		
	東オホーツク花シボジウムの実施	-	-	-	-	-		
8	女満別湖畔清掃	NPO法人 めまんべつ観光協会	平成21年4月24日	150名				
ビューポイントを再発見・創出する	景観探しツアーの実施	-	-	-	-	-		各方針別の活動内容について、今年度はあまり活動が行われていない状況であるが、新たな地域資源の発掘などの試みも行われている。今後は、蓄積された地域の資源情報を各方針別の内容に活かしていくことが課題になるものと考えられる。
	東オホーツクフォトコンテストの実施	-	-	-	-	-		
	ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	-	-	-	-	-		
	ビューポイントパーキングの拡充と保全	-	-	-	-	-		
9	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	古い建物を地域資源として活用する意見交換会	NPO法人 イッシヨ移住オホーツク	平成22年3月6日	10名			
地域づくり 農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	地域特産物の販売やPR活動	10	チャンソコプロジェクト「親子発掘体験」	(社)知床観光コンベンション 知床ナチュラルリスト協会	平成21年9月19日 ～ 平成21年9月21日	200名以上		地域特産物の販売などが盛んに行われ、東オホーツク特有の資源を活かす活動が定着しつつある状況となった。特に参加者なども多いことから継続した活動と連携を積極的に行っていきたい。
		11	ウトロ道の駅となりで「ウトロマーケット」	うとろナチュラルクラブ	平成21年9月19日	約300名		
		12	ポケットマーケットの開催	しれとこウトロ・フォーラム21	平成21年6月21日	100名以上	H - 1	
	13	先住民フォーラムの実施	地元農家直産 新鮮野菜 秋の味覚・収穫祭!	東オホーツクシーニックバイウェイ 連携会議	平成21年9月19日	500名		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
地域づくり	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	植林事業等の実施	6	桜の名所づくりと既存の植栽地の維持管理	桜の名所を創る会	平成21年5月10日	158名		地域特産物の販売などが盛んに行われ、東オホーツク特有の資源を活かす活動が定着しつつある状況となった。特に参加者なども多いことから継続した活動と連携を積極的に行っていきたい。	
			7	シーニックの森「てんとらんの森で植樹会」	道立オホーツク公園	平成21年10月28日	30名			
	楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)	温泉情報マップの作成 文化施設等との連携による文化発信 フットバスづくり オホーツクパーボンの研究 外国人交流の実施と誘致 オホーツクのオリジナル食メニューの研究	-	-	-	-	-	-	各方針別の内容が特定な内容が多く、活動がほとんど行えない状況であった。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みを行ってきたい。	
			14	湊沸湖畔周辺フットバス(ウェーダーウォーキング)創出検討	NPO法人イッパ移住オホーツク中村工務店野外活動倶楽部	平成21年8月14、22日	23名			
			-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-		
	地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニュースペーパーの発行 HPの創出と各町観光情報とのリンク	-	-	-	-	-	-	ホームページなどで紹介できるような取組みが多く、各エリアの地域情報や観光情報などを発信することができた。特に方針の内容とは別になるが、メーリングリストなどを活用して随時活動情報などの発信も行われていることから一定の成果が得られたものと考えられる。	
			15	シーニック・ムービー	オホーツクホーストレッキング研究会	平成21年4月29日～	アクセス数1044件	H - 2		
	風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出 流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出 サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	17	ポケットパークの運営	しれとこ外ロ・フォーラム21	平成21年4～10月	100名(イベント時)		シーニックデッキの利活用を中心とした活動が行われた。これらの活動を継続することにより、新たな観光拠点の創出などが期待できる。	
13			地元農家直産 新鮮野菜 秋の味覚・収穫祭!	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	平成21年9月19日	500名				
-			-	-	-	-	-			
観光振興	各地毎の滞在メニューの創出・連携	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットバスづくり	-	-	-	-	-	東オホーツクの自然を活かした活動が多く行われた。特に体験型のメニューとなりえる活動が多いことから今後の継続した活動と連携を積極的に図ってきたい。		
		ホーストレッキングルートの選定	18	オホーツクホーストレッキングin網走2009	オホーツクホーストレッキング研究会	平成21年6月27日、28日 平成21年9月19～25日	80名		H - 3	
		エコツアーの連携や自然探索ツアーの実施	19	斜里岳山麓・紅葉の森と遊ぼう	NPO法人きよさと観光協会、清里町商工会	平成21年9月27日	60名			
			20	神の子池かんじきウォーキング	清里町商工会	平成22年2月14日	60名			
			21	神の子池スノーシューウォーキングと清里まらめぐり	NPO法人知床斜里町観光協会	平成22年3月21日	30名			
		22	冬限定のエコウォーキング&景観モデルツアー	オホーツクフォトグラフアーメバース 東オホーツク美観あるこう会	平成22年2月27日	16名				
		23	知床ファンタジア2010	知床ファンタジア実行委員会、NPO法人知床斜里町観光協会、斜里町商工会	平成22年2月5日 平成22年3月21日	延べ70,000人				
24	美幌峠まつり 祈願祭	美幌観光物産協会	平成21年5月24日	300名						
東オホーツク型観光の研究	馬やバルーン景観の研究 東オホーツクトラベルの研究 東オホーツク観光塾の創出 東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり	18	オホーツクホーストレッキングin網走2009	オホーツクホーストレッキング研究会	平成21年6月27日、28日 平成21年9月19～25日	80名	H - 3	事業予算等が少なかったことから、各方針別の活動がほとんど行われなかった。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みを行ってきたい。		
		-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-	-			

『ポケットマーケットの開催』

- 【内 容】 斜里町ウトロ中心街の交差点(神社山交差点)の余剰スペースを多目的に利用するためにデッキを設置した。これらのスペースを利用したポケットマーケットを開催して、地元住民と来訪者(観光客)が共有できるコミュニケーションの場となる活動を行った。
- 【日 時】 平成21年6月21日(日) 10:00~12:00
- 【場 所】 ウトロポケットパーク(斜里町ウトロ 神社山交差点)
- 【主 催】 しれとこウトロ・フォーラム21
- 【協 力】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議、うとろナチュラルクラブ、知床ナチュラルリスト協会、斜里町ウトロ自治会、NPO法人みさきの風、斜里町
- 【参加者数】 100名



▲ポケットマーケットの様子



▲販売の様子

『シーニック・ムービーの配信』

- 【目的】北海道の美しい沿道景観を保全し、観光振興等へ活用する方策を目的に調査研究を行った。
- 【内容】東オホーツクシーニックバイウェイルートの魅力をもービーによりインターネットで配信した。
- 【主催】オホーツクホーストレッキング研究会
- 【実施日時】平成21年4月29日～
- 【実施箇所】「第14話 網走湖畔 日本最大級の水芭蕉群生地」、「第15話 大空町東藻琴 日本最大級の芝桜公園」、「第16話 絶景も悪天候には負ける 藻琴山小清水高原峠開き」、「第17話 短い夏の歴史絵巻「しれとこ斜里ねぶた」」、「第18話 球根生産農家の挑戦！小清水リリーパーク」、「第19話 新たな特産品づくりへの挑戦！清里町商工会」
- 【総アクセス数】 1044件



▲第15話
第15話 大空町東藻琴 日本最大級の芝桜公園



▲第19話
新たな特産品づくりへの挑戦！清里町商工会

『オホーツクホーストレッキングin網走2009』

- 【内 容】オホーツクホーストレッキングin網走2009は、アウトドアスポーツとして、網走管内における農村地域を中心とする緑豊かな自然空間や地域資産の有効活用と施設の整備、活動組織への支援等の方策を検討し、ホーストレッキングの普及および振興を図り、都市住民との交流促進を通して農村地域の活性化並びにオホーツクの観光交流に寄与することを目的として、2日間開催し、初心者コース・上級者コースを設定し、参加者の希望に合わせた乗馬体験会を実施した。秋は、ウナベツで開催した。
- 【日 時】平成21年6月27日(土) 13:00~平成21年6月28日(日) 8:00~12:00
平成21年9月19~25日(ウナベツで開催)
- 【場 所】網走原生牧場周辺、ウナベツスキー場
- 【主 催】(社)知床観光コンベンション、オホーツクホーストレッキング研究会
- 【協 賛】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議、知床斜里町観光協会
- 【参加人数】80名



▲ホーストレッキングの様子

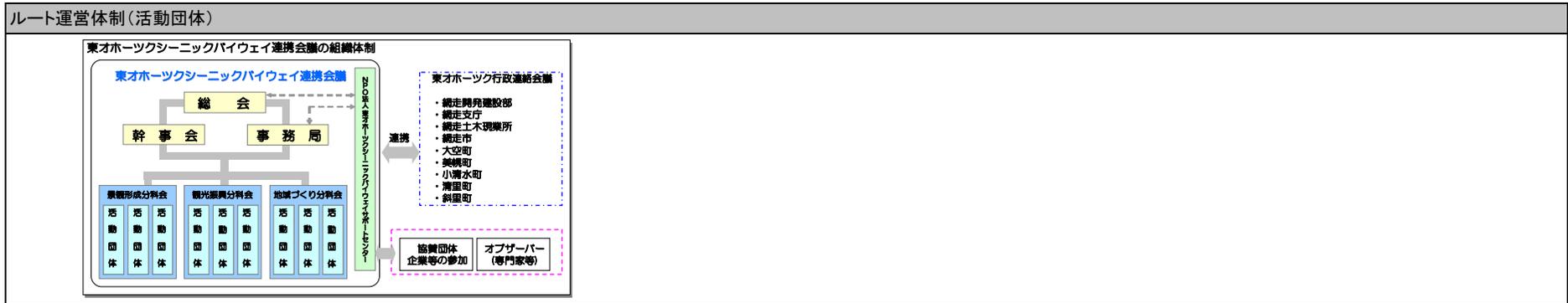


▲馬上から見えるオホーツク海(斜里町海別)

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイ 代表 高谷弘志	報告年月: 2010/4/7
----------------------------	-------------------------------	----------------

<p>活動団体</p> <p>■参加活動団体(37団体)</p> <p>網走湖・水と緑の会、網走市観光協会、オホーツク21世紀を考える会、オホーツクホストレッキング研究会、特定非営利活動法人グリーンシーズ(緑の環境を保全する部会)、東京農業大学生物産業学部、有限会社ヒサダ観光、北海道立オホーツク公園、特定非営利活動法人夢の樹オホーツク、大空町東藻琴観光協会、大空町東藻琴商工会、大空町女満別商工会、オホーツクフォトグラファーマンバーズ、まちづくりネットワーク・プロジェクトN5、特定非営利活動法人めまんべつ観光協会、藻琴川を美しくする会、上斜里フラワーロード推進協議会、特定非営利活動法人きよさと観光協会、清里町ウォーキング同好会、清里町商工会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、東オホーツクガイド協会、特定非営利活動法人グラウンドワークこしみず、小清水町観光協会、小清水町商工会、うしろナチュラルクラブ、斜里町商工会、しれとこウトロ・フォーラム21、特定非営利活動法人知床斜里町観光協会、特定非営利活動法人知床ナチュラルリスト協会、Radio Kisar、桜の名所を創る会、東オホーツク美幌あるこう会、美幌観光物産協会、美幌CBC(コミュニティビジネスクリエイター)、特定非営利活動法人イッショ移住オホーツク、中村工務店野外活動倶楽部 (平成21年6月18日現在)</p>
--



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			● 6/18										幹事・事務局会議がルート全体活動の企画から実行までの執行機関になっており、分科会による連携活動が行われていないことから、活動団体間の活動の理解が不十分な状況になっている。
幹事会		● 5/12	● 6/12		● 8/10		● 10/26						
分科会													
実行委員会													

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2010/4/7
----------------------------	--------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施	←----- ※MLにて団体・行政双方の活動情報等を随時配信 ----->										● 2/15		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者:網走開発建設部	報告年月:2010/4/7
---------------------------	-------------	---------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観づくり	メルヘンの丘ビューポイントパーキング清掃活動	平成21年4月30日	網走開発建設部・大空町	「メルヘンの丘」を訪れる多くの観光客などの方々に「気持ち良く」オホーツクの自然景観を楽しんでもらえるように、道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」及びメルヘンの丘ビューポイントパーキング周辺の道路について、本格的な観光シーズンに向けて地域住民とともに清掃活動を実施。	沿道の清掃活動や花の植栽など沿道景観の価値を再認識し、活かす取組を行政側も積極的に実施してきている。一方で、広域的な連携が不十分な面も見受けられることから、今後、このような活動を継続しながら、シーニックの団体との更なる広域的な連携を図り、効果的に推進していく必要がある。	1	
	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる(美しい沿道の保全・啓蒙)	道路付属物の集約化・撤去	通年	網走開発建設部		一般国道334号斜里町岩尾別(知床峠)において、過年度に実施した道路付属物のチェックシートに基づき、撤去・集約等による改善を実施した。	2
						一般国道334号斜里町ウトロ西において、過年度に実施した道路付属物のチェックシートに基づき、撤去・集約等による改善を実施した。	3
						一般国道334号斜里町峰浜において、過年度に実施した道路付属物のチェックシートに基づき、撤去・集約等による改善を実施した。	4
						一般国道334号斜里町豊倉において、過年度に実施した道路付属物のチェックシートに基づき、撤去・集約等による改善を実施した。	5
						一般国道334号斜里町川上において、過年度に実施した道路付属物のチェックシートに基づき、撤去・集約等による改善を実施した。	6
						一般国道334号小清水町小清水において、過年度に実施した道路付属物のチェックシートに基づき、撤去・集約等による改善を実施した。	7
	東オホーツクの広域景観づくり基本方針の策定	平成21年度	網走支庁	東オホーツクの大自然と人の営みが融合してできたこの景観を共に協力して守り育て、地域への誇りと愛着を持ち、一人一人が景観づくりの担い手であることを自覚し、東オホーツクをさらに魅力ある地域に創造していくことを目的として指針を策定。		8	
	鮮明な四季の色彩を見せる(花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	北浜法面原生花園化協議会「きたはなプロジェクト」	平成21年10月 圃場開墾・種まき	網走開発建設部・網走市		国道244号網走市北浜の法面等に自生する原生花園的な植物の種子を採集して育苗、植栽することで、世界自然遺産である知床半島やラムサール条約登録湿地である瀧沸湖、また小清水原生花園、以久科原生花園など、自然環境及び景観の優れた地域へのエンタランスを創出し、市民や観光客に潤いのある良好な景観を形成する。また、本活動へ参加することで環境意識の向上、地域振興への支援を図る。今年度は、市民をはじめ町内会や小学校へと連携が広がり、種の採取から苗の栽培・移植、草取りを実施した。	9
		ボランティアサポートプログラムによる花の植栽	平成21年6月20、21日	網走開発建設部		知床の玄関口、ウトロの道路沿いに花を植え、美しい街並み景観の創出を図るため、地域の活動団体(しれとこウトロフォーラム21)と網走開発建設部とが協働で花植えを実施した。	10
	ビューポイントを再発見・創出する	道路標識検討ワークショップ美幌エリアの開催	平成21年12月7日 平成22年3月3日	網走開発建設部、美幌町		美幌町は、国道4路線や美幌バイパスを有した交通の要所になっている。また、美幌峠などの景勝地もあり、多くの観光客が訪れていることから、適切な交通誘導をすることを目的として、美幌町の地域特性など種々の要因を考慮して、観光関係者、シーニックバイウェイ活動団体から美幌町の地域特性などの助言をもらい、道路標識・標示の改善に向けた検討を行った。	11
地域づくり	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携 楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)						
	地域イベントと連携した秋の知床交通情報発信	平成21年9月19～25日	網走開発建設部・斜里町	秋の観光シーズンに混雑が目立つ知床五湖やオシンコシンの滝駐車場等の混雑緩和を目的に、東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議が主体となっているイベントと連携した情報提供を行った。情報提供は、イベント情報の告知チラシに知床周辺の道路情報や駐車場の混雑状況及び近隣のビューポイントの紹介を行い、道路利用者の行動変化を促し混雑の分散化を図った。	12		
	情報誌「Byway」の配布	通年	東オホーツク行政連絡会議各機関	シーニックバイウェイ支援センターより発行される情報誌「Byway」について、各役所、道の駅の他、観光関係施設等に配置し、観光客や地域住民にシーニックバイウェイ関連情報の周知・PRを行った。	13		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出					知床観光圏の取組みが開始され、外国人に対応したわかりやすい案内看板などの検討もされており、広域連携した観光施策の新たな取組みが行われてきている。今後、他のエリアを含め更なる連携を図り、効果的な観光振興を推進していく必要がある。	
	各地毎の滞在メニューの創出・連携	知床観光圏整備計画の推進	通年	斜里町、清里町、羅臼町、標津町	知床を行政区境界や支庁界を超えた一つの観光圏としてとらえ、相互連携を強め、観光地の魅力増進と観光需要の増大を図るため、観光圏整備法に基づく協議会を設立。知床観光圏整備計画及び実施計画を策定した。平成21年度以降、計画に基づき4町及び関係団体が連携し一体的な取り組みを推進する。		14
	東オホーツク型観光の研究						

5. 平成20年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイ 代表 高谷弘志	報告年月: 2010/4/7
----------------------------	-------------------------------	----------------

平成20年度活動報告への助言	平成21年度 状況報告	備考
<p>・シーニックバイウエイ北海道の取り組み定着を踏まえ、持続的推進や一層のブランド形成を図るため、地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。</p>	<p>当東オホーツクの活動団体は、地域別、活動団体別に見ると、若干、取り組み状況に差が出てきていますが、沿道の清掃活動やシーニックデッキの利活用など継続的に活動を行ってきており、地域でのシーニックバイウエイの認知度は、確実に広がってきております。しかしながら、ルート連携活動全体を振り返ってみた場合、広域連携活動はまだまだ少ない状況であり、新しい取組みによるマンネリ化解消などルート運営における課題の一つは十分に達成されたとは言いがたい。したがって、次年度においては、東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議の中で活動のキーマンになるような人材育成を行っていきたい。また、現在、各活動団体が行っている活動の現状把握と課題の抽出、今後当連携会議で東オホーツク全体に資する活動などをとりまとめ、全活動団体へ情報の共有を行いながら、広域的視点をもったルート連携活動を策定を行い、更なる地域への活動の浸透及び人材育成の充実を図りたい。</p>	

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2009/11
----------------------------	--------------	---------------

平成20年度活動報告への助言	平成21年度 状況報告	備考
<p>・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。</p>	<p>メーリングリストを用いた活動団体・行政機関相互の活動情報、イベント情報等の情報交換が定着し、団体活動に行政機関の関係者(行政連絡会議担当以外も含む)の参加や後援等での行政機関の関わりが多く見られるようになった。行政主体の取組みについては、シーニックバイウエイの活動団体と連携する取組みがいくつかみられ、各行政機関職員の意識の浸透は徐々に進んできているものと考えられる。今後、活動団体と行政機関相互の連携促進を図りつつ効果的な取組みを推進していく必要がある。</p>	